

地政学リスクと2026年の経済見通し



日時

2026年 **1月28日** (水)

13:00~14:00



開催
方法

Zoomオンライン

参加
無料



講 師

上野 雄史 先生

静岡県立大学 経営情報学部教授
専門：会計学、国際会計、企業分析



対象

どなたでも（市外・県外からの参加も可）

※Zoom情報は前日までに申込みメールにお送りします

2026年は、トランプ米大統領によるベネズエラへの武力行使と大統領の拘束という衝撃的な出来事によって、波乱含みの幕開けとなりました。現時点では金融市場は比較的落ち着いた動きを見せていますが、こうした「力による現状変更」が常態化していくとすれば、地政学リスクは中長期的に一段と高まっていく可能性があります。

日本の経済環境に目を向けると、日経平均株価が5万円を突破するなど、株式市場は強気の展開を続けています。一方で、物価高の長期化や実質所得の伸び悩み、さらには人口減少を背景とした経済規模の縮小といった構造的課題も依然として重くのしかかっています。株高という表面的な明るさの裏で、実体経済との乖離が広がっている点には注意が必要でしょう。

今回は、こうした国際情勢の不安定化を踏まえつつ、2026年の世界経済および日本経済の見通しについて、地政学リスクという視点から整理し、今後の注目点を考えていきます。

お問い合わせ・お申込み

静岡市地域福祉共生センター「みなくる」

mina.ccrcc@u-shizuoka-ken.ac.jp

※件名を「1月WEBセミナー申込」としてお名前、年齢、緊急連絡先をお知らせください